

## 伊香立保育園

日時：平成 18 年 6 月 22 日 (木) 13:00 ~ 17:00

平成 18 年 6 月 26 日 (月) 9:00 ~ 17:00

場所：大津市伊香立下龍華町 566

伊香立保育園では、雨のプログラムができました。

植物の特徴を生かした、「見立て」遊びで、琵琶湖にいる生きものを知るプログラムと、雨の中で泥んこになってあそび、雨が川になり、琵琶湖になることに気づくプログラムです。

### 「かおりの森に行こうよ！」のプログラム

いつも使っている園の畑が「かおりの森」になりました。様々な植物を触ったり、におったり、味わったりすることで、自然の中には様々な味があり、においがあり、感触があることに気づきました。



ザラザラしてるね。

あー！やっぱりにおいする。かおりの森やー



これが一番いいにおい

ぐちゅぐちゅすると、いっぱいにおうよ



お味はいかが？

毒のある植物もありますので、かじったりする場合は指導者のもとで行いましょう！

### 「どこからくるの？びわこの水」のプログラム

園庭のぬかるみや水溜まりで泥んこになってあそびます。雨を五感で感じることで、一滴の水（雨）が集まって大きな琵琶湖になることに気づくプログラムができました。



水においがする。

口の中に入った。

シャワーだ。雨のいいにおいがする。



大またで歩いて足跡をいっぱいつける



あっ！水が流れてきた。

川ができてきた。



琵琶湖完成「雨が川になり、琵琶湖になったね。」



足が抜けない。

琵琶湖は大きいなー。

## 「これ何に見える？」のプログラム

琵琶湖にいる生きものなどを葉っぱや花で作り、園庭に作った琵琶湖に浮かべます。琵琶湖にはたくさんの生きものがいることを知りました。



葉っぱの舟ができたよ。



舟が琵琶湖大橋の下を通っているよ



長い葉っぱを使って、釣りをしているの。えさもつけて・・・

目がパッチリの魚ができたよ。アジサイの花で目を作ったの。



ふりかえり  
支援者「琵琶湖の中にある葉っぱはどうしようかな？」  
子ども「かおりの森に返そう」



この葉っぱと同じだから、ここにかえそう。

## 参加された先生の

### 声

今までの保育の中では「におう」「味わう」をしていなかった。子どもが「先生、この葉っぱいいにおいするで」と葉っぱを持ってきた。「かおりの森」のプログラムが「どこからくるの？」のプログラムに、子どもの中でつながっていると感じた

自然体験のあそびの中で子どもたちの生活や地域性が表現されていた。地域性を活かした保育の重要性を再確認できた。

雨の日に外であそぶということを考えていなかった。雨ならではの自然体験に、子どもたちは夢中になっていた。慣れないためか、少し疲れたけれど充実感と満足感があった。忘れていたものを考え直す機会となった。

葉っぱを返しに行く時、ポイッと捨てる子どもたちはいなかった。「この葉っぱに似ているからここに置いておこう」などそっと返している姿が見られた。あそびに満足していたからだと思う。

## Q & A

( 解答: 講師 島川武治(しまっち) )

Q: 葉っぱ等の中にはかじってはいけないものもあると思う。見分け方は？

A: 食べられる果実がなる葉っぱは大丈夫。キノコではしない方がよい。知らない植物はかじらないほうが良い。

Q: 自園でも雨の日に外に出たいが、園の先生や保護者にどのように伝えればよいか？

A: 先生には実際にこのプログラムを一緒にしてもらい、雨の魅力を伝える。保護者にはプログラムのねらい、安全面を確保しているむねを説明し、必要な服装(カッパと長靴)をお願いする。